



8/17 メイドイン荒尾のものづくりが評価 ～優良商品奨励賞受賞を市長へ報告～

い「肌触りの良さを実感して欲しいです」と高本チーム長(中)



第一紡績株式会社の女性用肌着「あらおのわいと」が、「平成29年度優良新商品表彰事業」にて、優良商品奨励賞を受賞しました。平成27年度にも男性用肌着「荒尾の和糸」で、優良商品金賞を受賞していて、それに続く2度目の受賞です。「あらおのわいと」は肌触りにこだわり、「荒尾の和糸」と同様に糸づくりから一貫生産した商品です。自社ブランドチームの高本チーム長は、「サイズ展開を増やし、男性用に続き女性用も全国展開したい」と意欲を見せました。

8/19 まちの魅力を見つけました！ ～大牟田・荒尾合同景観発見ツアー～

▶展望台から大牟田坑・宮原坑について説明を受ける参加者



景観資源について知り、学び、体験できる取り組みの一つとして、荒尾市・大牟田市合同で景観発見ツアーを開催しました。66人の参加者は、蔵満海岸に沈む夕陽や甘木山から見える市街地の夜景などの景観をバスで巡り、まちが持っている魅力・景観の大切さをあらためて発見。「時間を作って有明海の夕陽を見に行きたい」、「甘木山からの夜景が素晴らしかった」、「来年もまた参加したい」など、ツアー終了後には景観に感動した参加者の多くの声が寄せられました。

8/21 長年の献血推進活動が評価 ～荒尾警察署へ感謝状を贈呈～

▶喜びを分かち合う、中川署長と浅田市長(左から)



ことし7月12日に秋田県で開催された、献血運動推進全国大会で、荒尾警察署に日本赤十字社感謝状が授与され、8月21日に伝達式を行いました。荒尾警察署は、30年以上継続的に献血活動に協力していて、ことしも、5月と9月に荒尾警察署を会場として献血を実施しています。中川署長は、「今後も継続して、献血推進活動に取り組んでいきたいです」と意気込みを見せました。

また、荒尾市も厚生労働大臣表彰状を県内で唯一受賞しました。

8/23 陸上競技場の利便性に役立てて ～荒尾ロータリークラブがベンチを寄贈～

▶荒尾ロータリークラブの皆さんと浅田市長



来年、創立40周年を迎える荒尾ロータリークラブから、記念事業として、運動公園陸上競技場に本部席用のベンチ12脚が寄贈されました。

陸上競技場で行われた贈呈式では、石崎信雄会長からの目録贈呈の後、浅田市長から感謝状が手渡されました。

同クラブは、毎年3月に子どもたちを対象とした「なかよし一輪自転車競技大会」を陸上競技場で開催しており、陸上競技場の利便性の向上に役立ててほしいとのことでした。

地域の活動 掲示板

ひまわり大作戦



7/30

緑ヶ丘地区協議会

清里小学校内と通学路の清掃



8/27

清里地区協議会

平井ふるさと祭り



8/13

平井地区協議会

府本小学校除草作業



8/27

府本地区協議会

やはたの祭り



8/26

八幡地区協議会

カライモ畑除草作業



8/27

府本地区協議会

8/28 水の循環を学び、考えるきっかけに ～上下水道展～

▶顕微鏡を真剣な表情で覗き込む男の子。何が見えたのかな？



あらおシティモール内の「であいの広場」で上下水道展を開催しました。ことしは、水の循環に関するパネル展示、家庭で約1日に使用する1人分の水の量を2リットルペットボトルを使って分かりやすく紹介。企業局のマスコットキャラクター、あらぞうくんをデザインした缶バッチの作成、塗り絵コーナー、膜ろ過装置のミニ装置や微生物の観察などの実験コーナーもあり、興味を持って説明を聞いたり、真剣な表情でぬり絵に取り組んだりする、子どもたちの姿がありました。

9/1 受け継がれてきた 奉仕の心 ～有明高校さわやか奉仕活動～

▶市民病院の玄関口付近を一生懸命に清掃する生徒



有明高校全校生徒595人と全教職員は、市内でさわやか奉仕活動を実施し、道路沿いの空き缶・空き瓶・紙くずなどを拾い、荒尾駅や市民病院などの各施設の清掃や除草作業を行いました。住みよい地域づくりのお手伝い、お世話になっている地域への感謝の気持ちで続けていて、今回で41回目になります。看護科3年の女子生徒は、「ありがたいと言われてもらって温かい気持ちになりました。これからも先輩たちの思いを引き継ぎ、地域に貢献していきたいです」と話しました。